

第 1 回 総合教育会議 議事録要旨

1.開 会

2.市長あいさつ

市 長

教育委員会の皆様には、これまで培われた知識や経験をもとに、様々な角度から忌憚のないご意見・ご助言と、当市の未来を担う子ども達のため、より一層のご尽力をお願いします。

3.自己紹介

出席者全員の自己紹介

4.趣旨説明

説明 総合企画部政策調整室 小賀室長

総合教育会議の趣旨説明 資料 1 及び資料 2

総合教育会議の趣旨、位置づけ、協議内容、招集等を説明。

5.議題

議題(1)「津山市 総合教育会議 運営要綱(案)について」

説明 総合企画部 政策調整室 河野主幹

資料 3 にて、「津山市総合教育会議運営要綱(案)について」を制定したい旨を説明。

要綱は、会議の議事進行は市長。出席構成員の 2/3 以上で非公開とすることができる。事務局は総合企画部政策調整室などが主なポイント。

質問及び回答

田村教育長より議事録署名をどのようにするか質問があり、会議運用で行うことを確認する。

(全会一致で承認)

議題(2)「津山市 総合教育会議 傍聴要領(案)について」

説明 総合企画部 政策調整室 河野主幹

資料 4 にて「津山市総合教育会議傍聴要領(案)について」を制定したい旨の説明。

要領は、傍聴定員 5 名、受付は会議開始の 10 分前まで。危険物の携帯や酒気帯び者、人に迷惑を及ぼすと認められるものを携帯している場合は傍聴はできない。非公開とした場合は、傍聴者は退場。報道関係者は傍聴者に含まないなどが主なポイント。

質問及び回答

田村教育長より、傍聴者の定員が 5 名は少ないとの質問があるが、通常の会議は、市役所庁議室を使用する予定のため会場の大きさから 5 名とさせていただく。大きな案件などがあった場合には、会場を変えて、その開催場所の規模等を勘案して傍聴者の定員を定めるとし、全構成員にて確認し、了承される。

(全会一致で承認)

議題(3)「教育に関する大綱について」

説明 総合企画部 政策調整室 河野主幹

資料 5 にて「教育に関する大綱について」説明する。

制定することが義務となっており、速やかに制定する必要があること、大綱に定める事項、首長が有する権限についての目標や基本の方針を定める必要がある。

ただし、市議会議決ではなく、必ずしも網羅的に記載する必要はない。また、現在、教育委員会で策定している「津山市教育振興基本計画」をもって大綱に代えることもできる旨を説明。

市 長

第 4 次総合計画との整合を踏まえながら、しっかりとした教育理念と目標を定め、津山市の教育の現状や課題を分析されて策定されている「津山市教育振興基本計画」があり、大綱そのものの姿。

「津山市教育振興基本計画」の基本的な理念や目標等をもって大綱とすることを提案する。

構成員の皆さまからご意見をいただきたい。

田村教育長

教育委員会としましては、「津山市教育振興基本計画」を中心に、「つなぐ力」を備えた人づくり・まちづくりを推進し、その実現を目指すために取組を行っている。市長からご提案いただいたとおり、津山市教育振興基本計画の「教育基本理念」と「津山市の教育が目指す人づくり」、そして「3つの教育基本目標」をもって、津山市の教育に関する大綱としていただきたい。

市 長

教育委員の皆さまの総意を教育長が代表して伝えていただいたと理解すればよいのか？

《教育委員は同意の意思表示をする》

市 長

お諮りする。

「教育に関する大綱」については、津山市教育振興基本計画の「教育基本理念及び津山市の教育が目指す人づくり」、「教育基本目標」をもって大綱とし、その期間については、教育振興基本計画の計画期間の平成 28 年度までとしたい。

そして、今後、教育行政に対するニーズの変化や、第 5 次総合計画の具体的な内容によって修正や見直し等が必要となった場合には、その時に、改めて皆さまにお諮りするということで調整したい。

(全会一致で承認)

議題(4)「教育の重点施策について」

市 長

教育を行うための諸条件の整備に関することで、特に重点的に講ずべき施策等があれば、教育委員会の皆さんと協議を行っていききたい。

皆さんからご提案を伺いたいので、ご意見をお願いしたい。

寺元教育委員

私は、教育委員に任命いただいてから、学校や保護者、また地域の方々、また、PTA 連合会事務局長という役職から、たくさんのご意見をいただいている。その声で一番多かったのが、やはり「エアコンの設置」の要望。できれば、今年度の中道中から大規模改修工事と合わせた、効率的なエアコンの設置が実施をお願いしたい。

市長

今後の子育て支援や定住施策などを考えると、ぜひとも津山市の全小中学校にエアコン設置を実施したいが、設置事業費が20億円以上、維持費も毎年5千万円程度上昇することが見込まれ、委員からいただいたご意見も含めながら、しっかり検討して、必要なところへの予算配分を行ってまいりたい。

森委員長

全国的にも、子どもの貧困率の問題や、貧困の連鎖が指摘されており、経済的な貧困は、子どもたちのやる気さえ失わせている。津山市では、こうした問題に対応するため、経済的な支援が必要な方に対しては、就学援助費の支給し、その対象者についても、拡大する方向で見直しを行っている。その一方で、就学援助の認定者数や、ひとり親世帯が増加しており、子どもたちを取り巻く環境の変化が見られると聞いている。

子ども達は津山市の宝。しかしながら、学校だけでは限界があり、貧困や経済格差から生じる、低学力の問題、非行の問題、進路保障については、教育委員会として今後中心的な課題として考えていかなければならない。

市としても、子育てや街づくりの施策をとおして、このことについても論議をお願いする。

田村教育長

学校には、ひとり親家庭や貧困問題に関係する子ども達については、丁寧に対応して欲しいと指示している。

特に、大学等への進学する場合の奨学金について、希望者される方が比較的少なく、今後は、貸付ではなく給付に変更していく必要があると考えている。また、定時制高校を県北に創設してもらおうよう岡山県に要望していきたい。

市長

ひとり親家庭は、子育てと生計を一人で担わなければならない、子育てや家事と仕事の両立の難しさや、非正規雇用の増加等の影響から厳しい状況におかれていることは承知している。

本市では、津山市子ども・子育て支援事業計画～つやまっ子にこにこプラン～を本年3月に策定し、ひとり親家庭の自立支援施策を展開していくこととしている。

委員の意見も伝えながら、子ども達のことなので、生活保護制度以上の支援があっても良いと個人的には思う。教育委員会と引き続き連携を取り情報共有をしながら、計画を推進するよう、改めて、こども保健部に指示したい。

真木委員

教育振興基本計画にある学力の目標は、全国学力・学習状況調査や県調査において、県の平均正答率を上回るとしているが、これまではなかなか結果として表れていない。津山市振興基本計画の実施計画として、

「学校力向上推進プラン」を策定し、平成25年度から、重点的な取組を始めており、徐々にその取組が定着してきている。

35人学級編制の推進、教材提示装置の設置や、校内研究のための予算措置、小学校3年生と5年生での標準学力検査など、4次総合計画の後期計画の中に盛り込んでいただいている。

予算が伴うものについては、費用対効果が必要であると重々承知をしておりますが、教育においては、そういう側面だけではないので長い目で見ていただきたい。

市長

「学力向上推進プラン」では、学力を含め、子どもの学習意欲などに変化が見られるようになった点で、大変評価できる。また一方で、学力調査が県平均点を下回っていることも承知しているが、私は、このことについては、長期的な視点に立った対策が肝要であると考えている。

学力向上にあたっては、総合的な学力の育成という観点から、学力調査の結果に一喜一憂するのではなく、課題を確実に分析し、取り組んでいただきたい。

教育委員会には、引続き総合的な学力の育成・充実について、積極的に取組んでほしい。また、私ができることは行ってまいりたい。

長江委員

教育委員会では、学校、家庭、地域の連携を強化し、地域をあげて子ども達を支援し育てる取り組みとして、「おかやま子ども応援事業」と連携し、「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」実施・継続し、充実を図っている。

家庭教育支援では、市立幼稚園、小中学校などと連携し、各園校で親学講座や家族ふれあい教室を実施する。地域の教育力が低下している現状の中で、学校は地域の中で一番、施設・人がきちんとしており、学校が核となり地域を組織していく必要がある。

地域全体で子育てを後押しする気運の醸成や環境の整備が必要なのではないかと考えている。

市長

家庭や地域の教育力の向上は、今後の津山市の将来を担う人づくりにおいても、大変重要な課題と考えている。その意味において、今、お話しいただいた取り組み等は、どれも地域の方々や、学校・園などとの連携や協力がなければ前に進まないものばかり。

私といたしましては、こうした総合教育会議の場を活用し、教育委員から忌憚のないご意見やご提言を積極的にいただき、市としてできることを積極的に行ってまいりたいと感じている。

今後とも、市と教育委員会が深く連携し、家庭教育支援を始め、地域と連携した教育支援や、子ども達の居場所づくりに取り組んでいただき、津山市の将来を担う子ども達の健全育成に、一緒に取組んでまいりたい。ご協力をお願いします。

6. その他

事務局

議事録署名について、事務局で議事録を作成し、皆様方の全員に署名をいただくことを提案
(全会一致で承認)

田村教育長

会議の開催時期の予定は？

事務局

会議の開催は、毎年、4月と10月の時期に定例で開催。緊急に協議が必要な場合は、随時、臨時開催。
(全会一致で承認)

7.閉会

森委員長

本日、ご決定いただいた、教育に関する大綱に基づき、本市の教育施策をさらに推進していけるように、意思の疎通を図り、協力しながら、それぞれの取り組みを行ってまいりたい。

本日は、ありがとうございました。

(終了)